

おかざきの心の歌 - 夢 おどる -

△中学校の体育大会のダンス音楽として日本的要素を取り入れた作曲。

- 1 どこまでも広く 青い空
いつから ほくらを見てきたの
岡崎城下営々と ここに生きるほくたち

空に描いた ほくの夢
瞳を閉じると 風がささやく
過去が織りなす おかざきの物語
心ときめく おかざきの今

わきたつ あの雲のように
夢は ふくらむ
夢 おどる

いま 未来への 扉を開く
おかざきの 心高く 掲げて

夢 おどる
夢夢夢夢 夢夢夢夢 夢夢夢夢 夢夢夢夢

- 2 どこまでも遠く 青い川
いつから ほくらを見てきたの
矢作の川は滔々と ここで暮らすほくたち

川面に映した ほくの夢
耳を澄ますと 流れがささやく
過去が織りなす おかざきの物語
心ときめく おかざきの今

きらめく あの光のように
夢は かがやく
夢 おどる

いま 未来への 扉を開く
おかざきの 心高く 掲げて

夢 おどる
夢夢夢夢 夢夢夢夢 夢夢夢夢 夢夢夢夢